

国土数值情報（鳥獣保護区域）

製品仕様書

第 2.2 版

平成 26 年 3 月

国土交通省国土政策局

【改定履歴】

版	更新日	改定内容
第 1.0 版	2009 年 3 月	初版
第 2.0 版	2010 年 3 月	地理情報標準プロファイル (JPGIS) のバージョンアップに伴う改訂
第 2.1 版	2011 年 3 月	GML 形式への変換作業に伴い、全体の見直しを実施
第 2.2 版	2014 年 3 月	統一フォーマット形式の変換作業に伴い、見直しを実施

目次

1 概覧.....	1
1.1 空間データ製品仕様書の作成情報.....	1
1.2 目的.....	1
1.3 適用範囲.....	1
1.4 引用規格.....	2
1.5 用語と定義.....	2
1.6 略語.....	2
1.7 参考資料.....	2
2 適用範囲.....	3
2.1 適用範囲識別.....	3
2.2 階層レベル.....	3
3 データ製品識別.....	3
3.1 製品仕様識別.....	3
4 データ内容および構造.....	4
4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書.....	4
4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ.....	4
4.1.2 指定地域パッケージ.....	5
4.1.3 鳥獣保護区域パッケージ.....	6
4.1.4 共通パッケージ.....	9
4.2 空間スキーマプロファイル.....	9
4.3 時間スキーマプロファイル.....	9
5 参照系.....	9
5.1 座標参照系.....	9
5.2 時間参照系.....	9
6 データ品質.....	10
7 データ製品配布.....	12
7.1 配布書式情報.....	12
7.2 配布媒体情報.....	12
8 メタデータ.....	13

付属資料

- 1 符号化仕様作成のためのタグ一覧
- 2 符号化仕様

1 概覧

1.1 空間データ製品仕様書の作成情報

本製品仕様書の作成に関する情報は以下のとおりとする。

- 空間データ製品仕様書の題名：国土数値情報（鳥獣保護区域）製品仕様書 第 2.2 版
- 日付：2014 年 3 月 14 日
- 作成者：国土交通省 国土政策局 国土情報課
- 言語：日本語
- 分野：指定地域
- 文書書式：PDF

1.2 目的

国土数値情報は、国土形成計画、国土利用計画などの国土計画の策定や実施の支援のために作られたものであるが、各分野で広く利用されることも想定している。

本製品仕様書に基づく国土数値情報データは、国土形成計画の策定を支援することを目的とする。

1.3 適用範囲

本製品仕様書が適用されるデータの適用範囲は以下のとおりである。

- 空間範囲
 - 日本全国
- 時間範囲
 - 昭和 57 年度（作成時点：平成 14 年 8 月末）

1.4 引用規格

本製品仕様書は以下の規格から引用する。

- 地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 2.1 版 平成 21 年 5 月

1.5 用語と定義

本製品仕様書で使用される専門用語とその定義は、以下の資料に従う。

- 地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 2.1 版「附属書 5 (規定) 定義」
- 国土交通省国土計画局 GIS ホームページ ガイダンス
URL : <http://www.mlit.go.jp/kokudokeikaku/gis/guidance/index.html>

1.6 略語

本製品仕様書で使用される略語は、以下のとおりとする。

s

- JPGIS Japan Profile for Geographic Information Standards
- JMP Japan Metadata Profile
- UML Unified Modeling Language

1.7 参考資料

国土数値情報で使用されるコードリスト等については、以下のサイトを参照。

国土数値情報ダウンロードサービス

URL : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>

2 適用範囲

本製品仕様書の適用範囲は次のとおりとする。

2.1 適用範囲識別

国土数値情報（鳥獣保護区域）製品仕様書第 2.2 版適用範囲

2.2 階層レベル

データ集合

3 データ製品識別

3.1 製品仕様識別

本製品仕様書に基づくデータ製品の識別は、次のとおりとする。

■ 空間データ製品の名称

国土数値情報（鳥獣保護区域）データ

■ 日付

2014 年 3 月 14 日

■ 問合せ先

国土交通省 国土政策局 国土情報課

電話：03-5253-8111 FAX：03-5253-1569

Email：nsdijp@mlit.go.jp

■ 地理記述

全国

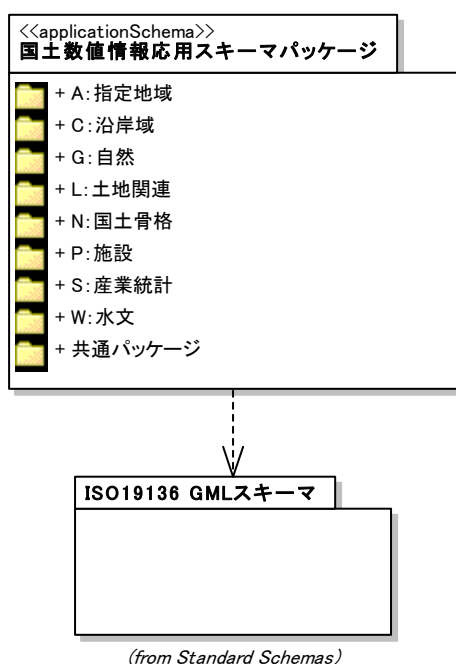
4 データ内容および構造

本章では、本製品仕様書が扱う国土数値情報に関する UML クラス図および定義文書を記す。

4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書

4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマを構成する各パッケージの依存関係を示したものである。国土数値情報応用スキーマは、国土数値情報を分類したパッケージと、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリスト等をまとめた共通パッケージより構成される。国土数値情報応用スキーマに含まれる地物およびメッシュは、指定地域や沿岸域等のカテゴリにおいて定義される。



4.1.2 指定地域パッケージ

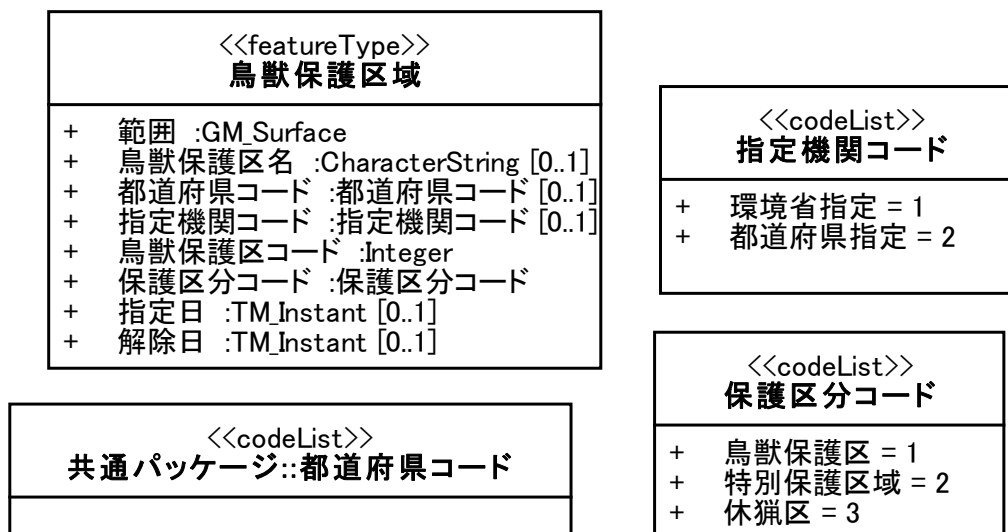
このパッケージは、指定地域に関するパッケージをまとめたものである。



4.1.3 鳥獣保護区域パッケージ

このパッケージは、鳥獣保護区域に関する内容をまとめたものである。

4.1.3.1 応用スキーマクラス図



4.1.3.2 応用スキーマ文書

鳥獣保護区域

鳥獣保護区は，鳥獣の保護及び狩猟の適性化に関する法律（通称：鳥獣保護法）に基づき国または都道府県により設定された区域とする。

上位クラス：

抽象/具象区分：具象

属性

範囲：GM_Surface

区域の範囲。

■ 定義域

原典資料に示される空間範囲。

■ 取得基準

隣接する鳥獣保護区とは重複や隙間があってはならない。

鳥獣保護区の界線が行政界及び鉄道上をとる場合，原則として国土数値情報の行政界または鉄道上となるようにする。

鳥獣保護区名称[0..1]：CharacterString

鳥獣保護区の名称。

■ 定義域

鳥獣保護区位置図に示される鳥獣保護区域名。

都道府県コード[0..1]：都道府県コード

都道府県を一意に識別するためのコード。

JIS規格（JIS X 0401）に準拠する。

■ 定義域

01～47

指定機関[0..1]：指定機関コード

国指定及び県指定の区分

■ 取得基準

国指定の鳥獣保護区は「国指定保護区設定状況」などから取得。県指定は各都道府県配布の鳥獣保護区位置図に記載があるもののうち，国指定の鳥獣保

護区を除いたもの。

■ 定義域

コード	対応する内容
1	環境省指定
2	都道府県指定

鳥獣保護区コード[0..1] : integer

鳥獣保護区を一意に識別するためのコード。

保護区分 : 保護区分コード

鳥獣保護区と特別保護区域、休猟区を区別するためのコード

■ 取得基準

鳥獣保護区位置図の凡例より取得。

■ 定義域

コード	対応する内容
1	鳥獣保護区
2	特別保護区域
3	休猟区

指定日[0..1] : TM_Instant

鳥獣保護区が指定された年月日。

■ 定義域

鳥獣保護区位置図等に記載される年月日。

解除日[0..1] : TM_Instant

鳥獣保護区が解除される年月日。

■ 定義域

鳥獣保護区位置図等に記載される年月日。

4.1.4 共通パッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリスト等をまとめたものである。

コードリスト等については、本製品仕様書「1.7 参考資料」の参照先を参照。

4.2 空間スキーマプロファイル

国土数値情報の空間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第2.1版 空間スキーマ」を採用する。

4.3 時間スキーマプロファイル

国土数値情報の空間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第2.1版 時間スキーマ」を採用する。

5 参照系

5.1 座標参照系

参照系識別子 : JGD2000 / (B, L), TD (B, L)

5.2 時間参照系

参照系識別子 : GC / JST

6 データ品質

データ品質要素・副要素	完全性・過剰
データ品質適用範囲	鳥獣保護区域
データ品質評価尺度	データ集合内に、鳥獣保護区資料が示す鳥獣保護区と対応関係がとれない鳥獣保護区データが存在すれば、それを過剰なデータとカウントする。
データ品質評価手法	鳥獣保護区資料との比較による全数検査
適合品質水準	過剰データ数 0 個

データ品質要素・副要素	完全性・漏れ
データ品質適用範囲	鳥獣保護区域
データ品質評価尺度	データ集合内に、鳥獣保護区資料が示す鳥獣保護区と対応する鳥獣保護区が存在しない場合、それをデータの漏れとカウントする。
データ品質評価手法	鳥獣保護区資料との比較による全数検査
適合品質水準	データの漏れの数 0 個

データ品質要素・副要素	論理一貫性・書式一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	データ集合の書式が、整形式となっていない箇所（XML 文書の構文として正しくない箇所）の割合を計算する。
データ品質評価手法	XML パーサによる全数検査
適合品質水準	誤率 0%

データ品質要素・副要素	論理一貫性・概念一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	符号化仕様が規定する XML スキーマに対する、データ集合に存在する矛盾の割合を計算する。
データ品質評価手法	XML バリデータによる全数検査
適合品質水準	誤率 0%

データ品質要素・副要素	論理一貫性・定義域一貫性
データ品質適用範囲	鳥獣保護区域
データ品質評価尺度	地物属性の都道府県コード，鳥獣保護区種別コード種別が，応用スキーマが規定する各コードリストの定義域の範囲外にある値を持つ地物の割合を計算する。 誤率 (%) = (定義域の範囲外にある値を持つ地物属性の数 / 地物属性の総数) * 100
データ品質評価手法	検査プログラムによる全数検査
適合品質水準	誤率 0%

データ品質要素・副要素	論理一貫性・位相一貫性
データ品質適用範囲	鳥獣保護区域
データ品質評価尺度	面どうしの重なり，閉じられていない面があればエラーとしてカウントする。 誤率 (%) = (エラー数 / 各データ集合総数) * 100
データ品質評価手法	検査プログラムによる全数検査
適合品質水準	誤率 0%

データ品質要素・副要素	位置正確度・絶対正確度
データ品質適用範囲	鳥獣保護区域
データ品質評価尺度	地物と原典資料（数値地図 50000（地図画像），鳥獣保護区位置図）を管面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し，位置のズレの最大値を測定する。
データ品質評価手法	全数検査
適合品質水準	図上 0.3mm 以内

データ品質要素・副要素	主題正確度・非定量的主題属性の正しさ
データ品質適用範囲	鳥獣保護区域
データ品質評価尺度	地物属性の指定機関，鳥獣保護区種別，休猟区を鳥獣保護区区域図と比較し，鳥獣保護区に記載されている内容と一致しない地物の割合を算出する。 誤率 (%) = (内容が一致しない地物属性の数 / 地物属性の総数) * 100
データ品質評価手法	全数検査
適合品質水準	誤率 0%

データ品質要素・副要素	時間正確度・時間一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	地物の時間属性（指定日・解除日）が，時系列にしたがっていない場合，その個数をエラーとカウントする。
データ品質評価手法	全数検査
適合品質水準	時系列になっていないデータの数 0 個

7 データ製品配布

7.1 配布書式情報

■ 書式名称

JPGIS 第 2.1 版 附属書 12 (規定) 地理マーク付け言語 (GML)

■ 符号化仕様

国土数値情報応用スキーマの XML Schema は、JPGIS 第 2.1 版 附属書 12 の符号化規則に従う。また、国土数値情報応用スキーマが参照する基本データ型スキーマ、空間スキーマ、時間スキーマ等の標準スキーマの XML Schema は、次の URL に掲載されている XML Schema を使用する。

http://standards.iso.org/ittf/PubliclyAvailableStandards/ISO_19136_Schemas/

国土数値情報 (鳥獣保護区域) 応用スキーマの XML Schema で使用する名前空間および名前空間接頭辞は次のとおりとし、XMLSchema については附属資料を参照のこと。

名前空間 : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app>

名前空間接頭辞 : ksj

■ 文字集合

UTF-8

■ 言語

日本語を使用する。

7.2 配布媒体情報

■ 単位

都道府県

■ 媒体名

下記サイトよりダウンロード。下記サイトでは、国土数値情報を無償で一般公開している。

国土数値情報ダウンロードサービス (JPGIS 準拠データ)

URL : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>

8 メタデータ

本製品仕様書のメタデータは、**JMP2.0**を採用する。

国土数值情報（鳥獸保護区域）製品仕様書 第 2.1 版

付属資料

1 符号化仕様作成のためのタグ一覧

	クラス	属性・関連役割	型	タグ名	英語名(属性・関連役割のみ)
指定地域					
A15: 鳥獣保護区域					
鳥獣保護区域				WildlifePreserve	wildlife preserve
	範囲		GM_Surface	bounds	bounds
	鳥獣保護区名		CharacterString	areaName	area name
	都道府県コード	都道府県コード		prefectureCode	prefecture code
	指定機関コード	指定機関コード		designatedInstitutionCode	designated institution code
	鳥獣保護区コード		integer	preservationOfBirdTypeCode	preservationOfBirdTypeCode
	保護区分コード	保護区分コード		preservationTypeCode	preservation type code
	指定日		TM_Instant	designatedDate	designated date
	解除日		TM_Instant	unspecifiedDate	unspecified date

2 符号化仕様

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xsd:schema xmlns:ksj="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app"
xmlns:gml="http://www.opengis.net/gml/3.2" xmlns:sch="http://www.ascc.net/xml/schematron"
xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
targetNamespace="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app" elementFormDefault="qualified"
version="1.0">
  <!-- 外部参照 -->
  <xsd:import namespace="http://www.opengis.net/gml/3.2"
schemaLocation="http://standards.iso.org/ittf/PubliclyAvailableStandards/ISO_19136_Schemas/gml.x
sd"/>
  <xsd:include schemaLocation="Ksj_Common.xsd"/>
  <!-- 基底要素 -->
  <xsd:element name="Dataset">
    <xsd:complexType>
      <xsd:complexContent>
        <xsd:extension base="gml:AbstractFeatureType">
          <xsd:choice minOccurs="0" maxOccurs="unbounded">
            <xsd:element ref="gml:AbstractGML"/>
            <xsd:element ref="gml:CompositeValue"/>
          </xsd:choice>
        </xsd:extension>
      </xsd:complexContent>
    </xsd:complexType>
  </xsd:element>
  <!-- 要素定義 -->
  <xsd:element name="WildlifePreserve" type="ksj:WildlifePreserveType"
substitutionGroup="gml:AbstractFeature"/>
  <xsd:complexType name="WildlifePreserveType">
    <xsd:annotation>
      <xsd:documentation>鳥獣保護区域</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
    <xsd:complexContent>
      <xsd:extension base="gml:AbstractFeature">
        <xsd:sequence>
```

```

<xsd:element name="bounds" type="gml:SurfacePropertyType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>範囲</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="areaName" type="xsd:string" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>鳥獣保護区名</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="prefectureCode" type="gml:CodeType" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>都道府県コード</xsd:documentation>
  <xsd:appinfo>
    <gml:defaultCodeSpace>PrefectureCode.xml</gml:defaultCodeSpace>
  </xsd:appinfo>
</xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="designatedInstitutionCode" type="ksj:DesignatedInstitutionCodeType"
minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>指定機関コード</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="preservationOfBirdTypeCode" type="xsd:integer">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>鳥獣保護区コード</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="preservationTypeCode" type="ksj:PreservationTypeCodeType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>保護区分コード</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="designatedDate" type="gml:TimeInstantPropertyType" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>

```

```

        <xsd:documentation>指定日</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="unspecifiedDate" type="gml:TimeInstantPropertyType" minOccurs="0">
    <xsd:annotation>
        <xsd:documentation>解除日</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
</xsd:element>
</xsd:sequence>
</xsd:extension>
</xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="WildlifePreservePropertyType">
    <xsd:sequence minOccurs="0">
        <xsd:element ref="ksj:WildlifePreserve" />
    </xsd:sequence>
    <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup" />
    <xsd:attributeGroup ref="gml:OwnershipAttributeGroup" />
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="WildlifePreserveMemberType">
    <xsd:complexContent>
        <xsd:extension base="gml:AbstractMemberType">
            <xsd:sequence minOccurs="0">
                <xsd:element ref="ksj:WildlifePreserve" />
            </xsd:sequence>
            <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup" />
        </xsd:extension>
    </xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:simpleType name="PreservationTypeCodeType">
    <xsd:annotation>
        <xsd:documentation>保護区分コード</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
    <xsd:union memberTypes="ksj:PreservationTypeCodeEnumType
ksj:PreservationTypeCodeOtherType" />
</xsd:simpleType>

```

```

<xsd:simpleType name="PreservationTypeCodeEnumType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:enumeration value="1">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>鳥獣保護区</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
    <xsd:enumeration value="2">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>特別保護区域</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
    <xsd:enumeration value="3">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>休猟区</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
  </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="PreservationTypeCodeOtherType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:pattern value="other: ¥w{2,}" />
  </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="DesignatedInstitutionCodeType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>指定機関コード</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
  <xsd:union memberTypes="ksj:DesignatedInstitutionCodeEnumType
ksj:DesignatedInstitutionCodeOtherType" />

```

```

</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="DesignatedInstitutionCodeEnumType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:enumeration value="1">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>環境省指定</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
    <xsd:enumeration value="2">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>都道府県指定</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
  </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="DesignatedInstitutionCodeOtherType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:pattern value="other: ¥w{2,}" />
  </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
</xsd:schema>

```